

カンピロバクター非定着因子を持つ機能性飼料の開発に向けて

カンピロバクターは、鶏肉による食中毒の原因細菌として、養鶏業界では早急な対策が求められています。

当センターでは、鶏に対する感染防止対策として、飼料の原料である穀類の成分中にカンピロバクターの発育抑制効果があることを実験室レベルで確認したことから、ブロイラーへの給与試験を実施し、鶏への感染防止効果について検討しています。



試験用に作成したブロイラーの個別飼育用ケージ